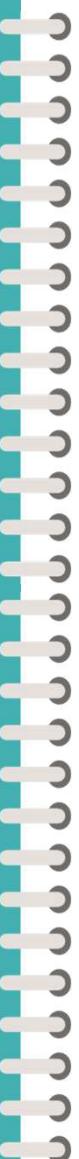


ごみの正体と未来を考える ~廃棄物の現状と減量~

廃棄物減量等推進員 (ごみゼロ推進員) 資料編

令和7年（2025）年9月

宝塚市クリーンセンター管理課



目次

01 はじめに

02 宝塚市のごみの現状

03 宝塚市のごみの中身

04 ごみを減らすと・・・？

05 ごみを減らす3つのステップ

06 わたしたちにできること

01 はじめに

人が生きている限り、 ごみは出る

わたしたちは毎日ごみを出しています。人が生活していくことと、ごみを出すことは切っても切り離せません。

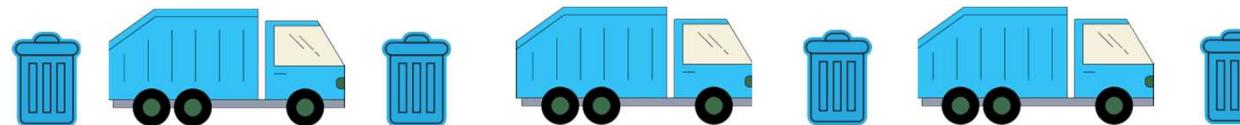
ごみはどういうもので、どう処理をされて、どういう影響を環境や社会に及ぼすのか。

ごみゼロ推進員の皆さんには、ごみの中身と減量について、活動を通じて学んでいただきたいと思います。



02 宝塚市のごみの現状

- 宝塚市で1年間に出てる燃やすごみの量（令和5年度）：49,413 t



3tのごみ収集車
約16,500台分！

- 宝塚市の一人当たりの1日のごみ総排出量（令和5年度）：849 g



コンビニのおにぎり
(120g) 約7個分！

- 宝塚市が1年間で出す焼却灰の量（令和5年度）：7,812 t



10t トラック約780台
分を神戸湾沖に埋め立てています

03 宝塚市のごみの中身



04 ごみを減らすと？？

01

家庭にいいこと

無駄な買い物を減らすと
節約につながります。ま
た、捨てる時の分別の手
間も少なくなります。



お金と資源を捨てない暮らしが、地球と自分の未来を守ります。

02

地域にいいこと

燃やすごみの量を減らす
と焼却炉を長く使えるの
で、ごみ処理のコストを
抑えることができ、地域
に還元できます。

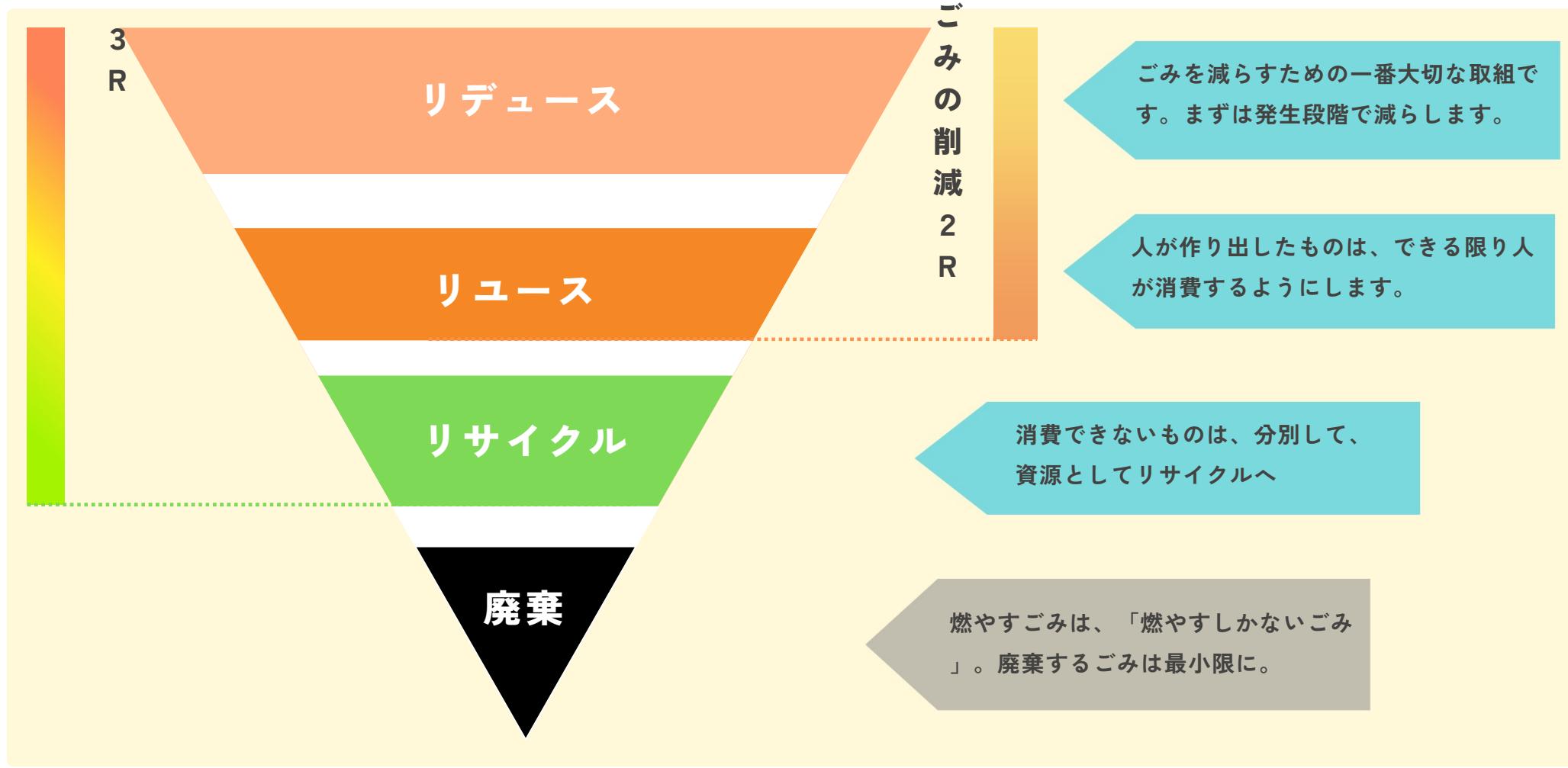
03

地球にいいこと

焼却灰の埋立地には限り
があります。埋立地を延
命することは環境保全に
つながります。



05 ごみを減らす3つのステップ



06 わたしたちにできること

リデュース

食品ロスを減らしましょう！

食品ロスを減らすと、1世帯あたり年間約56,000円の節約になると言われています。1世帯当たりの平均的な食費は月に67,000円なので、1か月分に近い食費を節約することができます。

食べ物は「買う前・作る前・食べる前」に食べきれるかを考えましょう。



リデュース



レンタル・シェアのススメ

使用頻度の少ないものは、レンタルサービスやシェアリングサービスを利用することで、製品の購入を抑制し、リデュースにつなげることができます。収納スペースの節約にもなるので、家もすっきり、片づけやすくなります。

06 わたしたちにできること

リユース

不要物は捨てる前に譲る工夫を

まだ使えるものは、リユースショップやフリマアプリ・サイトで譲ることで、有効活用することができます。市では「おいくら」や「ジモティー」などのリユース事業者と協定を結んでいます。



リユース

食品の寄付に取り組みましょう



日本では年間3000万tの食品を輸入する一方で、その1/6にあたる472万tを廃棄しています。

まだ食べられる未開封の食品や、食べる予定のない頂きものなどを、フードバンクや地域の回収イベントに寄付しましょう。

06 わたしたちにできること

リサイクル

不要になった食用油は回収ボックスへ

家庭で使った食用油や賞味期限の切れた食用油は、ペットボトルに入れて市内に設置している廃食油回収ボックスへ入れましょう。回収した食用油は、バイオディーゼル燃料に、将来的には S A F（持続可能な航空燃料）にリサイクルされます。



リサイクル

正しい分別、正しい出し方を心がけましょう



資源をリサイクルするためには、リサイクルに適した状態で排出することが大切です。

ペットボトルはフタとラベルを外して、軽くすすいで分けて出すなど、リサイクルに適した出し方を実践することで、より多くの資源をリサイクルできます。